

平成 28 年 5 月 16 日 クロナマコの種苗生産③ ～アウリクラリア幼生～

今年もクロナマコの生産が始まりました！去年は、途中で連載がストップしてしまったので、今年はなるべくリアルタイムに日誌を更新していきたいと思います。

さて、今年も4月26日、5月9日より始まったクロナマコの種苗生産。受精卵は翌日にふ化し、ナマコの幼生はエサを食べて日に日に成長しています！前回、成長段階で変わる幼生の名前をご紹介しましたので、今回は、その中から「アウリクラリア幼生」についてお話したいと思います。

ナマコ幼生は、一番長い時間を「アウリクラリア幼生」として過ごします。その特徴は、最大で0.8mmと大きくなるということ、期間中に変化する姿・形に合わせて「前期アウリクラリア幼生・アウリクラリア幼生・後期アウリクラリア幼生」の3期に分かれていることです。幼生期間は生まれたての赤ちゃんのようなものなので、飼育環境には非常に気をつかいます。特に「後期アウリクラリア」は、生産過程で何かしらの問題があると出現率が低くなってしまうため、この幼生の出現が生産成功の鍵を握ると言っても過言ではありません。

今年も元気な後期アウリクラリア幼生に会えるかな・・・今日も飼育室では、そんな期待と不安を抱えながら作業をしています。



前期アウリクラリア幼生



アウリクラリア幼生



後期アウリクラリア幼生